

カペシタビン単独

Cape(カペシタビン)


【適応】

手術不能又は再発乳癌(A又はB法)

結腸・直腸癌(術後補助化学療法の場合B法)

【投与スケジュール】

A法

	Day1		Day21		Day28
Cape 825mg/m ² /回 1日2回					


1日2回朝・夕食後 21日間内服し、その後7日間休薬する。

4週を1コースとする。

※Capeの投与量(A法)について

体表面積	通常量
1.31 m ² 未満	900 mg (3錠)/回
1.31 m ² 以上 1.64 m ² 未満	1200 mg (4錠)/回
1.64 m ² 以上	1500 mg (5錠)/回

B法

	Day1		Day14		Day21
Cape 1250mg/m ² /回 1日2回					

1日2回朝・夕食後 14日間内服し、その後7日間休薬する。

3週を1コースとする。

※Capeの投与量(B法)について

体表面積	通常量
1.33 m ² 未満	1500 mg (5錠)/回
1.33 m ² 以上 1.57 m ² 未満	1800 mg (6錠)/回
1.57 m ² 以上 1.81 m ² 未満	2100 mg (7錠)/回
1.81 m ² 以上	2400 mg (8錠)/回

●カペシタビン投与量について、クレアチニンクリアランス (CLcr) 値により必要に応じて減量してください。

クレアチニンクリアランス推定値 CLcr (Cockcroft-Gault 式)

男性 Ccr 推定値 (mL/min) = 体重 (kg) × (140 - 年齢) ÷ (72 × 血清クレアチニン値 (mg/dL))

女性 Ccr 推定値 (mL/min) = 体重 (kg) × (140 - 年齢) × 0.85 ÷ (72 × 血清クレアチニン値 (mg/dL))

中等度：投与開始前の CLcr が 30~50mL/min の患者 → 75% 用量 (減量段階 1) で開始

軽度：投与前の CLcr が 51~80mL/min の患者 → 初回減量は不要

※ B 法減量方法

体表面積	1 段階減量	2 段階減量
1.13 m ² 未満	900mg (3 錠) / 回	600mg (2 錠) / 回
1.13~1.21 m ² 未満	1200mg (4 錠) / 回	
1.21~1.45 m ² 未満		1500mg (5 錠) / 回
1.45~1.69 m ² 未満	1800mg (6 錠) / 回	
1.69~1.77 m ² 未満		
1.77 m ² 以上		

※Cape の休薬、減量、再開について

NCI による毒性の Grade 判定	治療期間中の処置	治療再開時の投与量
Grade1	休薬・減量不要	減量不要
Grade2 初回発現	Grade0~1 に軽快するまで休薬	減量不要
2 回目発現	Grade0~1 に軽快するまで休薬	1 段階減量
3 回目発現	Grade0~1 に軽快するまで休薬	2 段階減量
4 回目発現	投与中止・再投与不可	
Grade3 初回発現	Grade0~1 に軽快するまで休薬	1 段階減量
2 回目発現	Grade0~1 に軽快するまで休薬	2 段階減量
3 回目発現	投与中止・再投与不可	
Grade4 初回発現	投与中止・再開不可 あるいは治療継続が患者にとって望ましいと判定された場合は、Grade0~1 に軽快するまで投与中断	2 段階減量

※手足症候群の判定基準

Grade	臨床領域	機能領域
1	しびれ、皮膚知覚過敏、ヒリヒリ・チクチク感、無痛性腫脹、無痛性紅斑	日常生活に制限を受けることはない症状
2	腫脹を伴う有痛性皮膚紅斑	日常生活に制限をうける症状
3	湿性落屑、潰瘍、水疱、強い痛み	日常生活を遂行できない症状

該当する症状の Grade が両基準(臨床領域、機能領域)で一致しない場合は、より適切と判断できる Grade を採用する。